

平成16年から年1回掲載している
「語り継ぎたい豊平の歴史」。
今回は豊平区を写真で振り返ります。



さっぽろ羊ヶ丘展望台(平成4年)

写真で振り返るとよひら

アンパン道路の整備

平岸から月寒に通じる道を整備し明治44年に完成。工事の間、作業従事者にアンパンが配られたことが名前の由来。現在では、月寒西4条6丁目に記念碑が建てられている。



アンパン道路記念碑



アンパン道路の工事(明治44年)
【つきさっぽろ郷土資料館所蔵】

明治4年、現在の岩手県から開拓民が平岸・月寒などに移住。明治5年に平岸村と月寒村が、明治7年には豊平村が誕生。

明治

明治35年、3村が合併し豊平村となり、6年後には豊平町に。

市電豊平線

大正7年に民間会社が開業した路面電車は、大正13年、豊平橋を渡り現在の豊平3条2丁目付近まで延長され、豊平線が開通した。その後、市営となり豊平駅前(豊平3条8丁目付近)まで延長されたが、バスや車の普及に伴う交通の混雑などにより昭和46年豊平線は廃止となった。



市電と豊平橋(昭和初期)
【つきさっぽろ郷土資料館所蔵】

大正～
昭和

盛んだったリンゴ栽培

明治初期から始まったリンゴ栽培。昭和11年ころになると平岸のリンゴは海外にも輸出されました。写真は、昭和10年に建設されたリンゴを保管していたレンガ倉庫。



旧中井家リンゴ倉庫(平成4年)

都市化が徐々に進む中、昭和36年、豊平町が札幌市と合併。